

なでしこ

『大宮中精神:優しさをもって、夢や目標に向かって、挑戦する若者であれ！』

11/10（月）朝礼校長講話 『使う言葉が心や仲間をつくる』の話

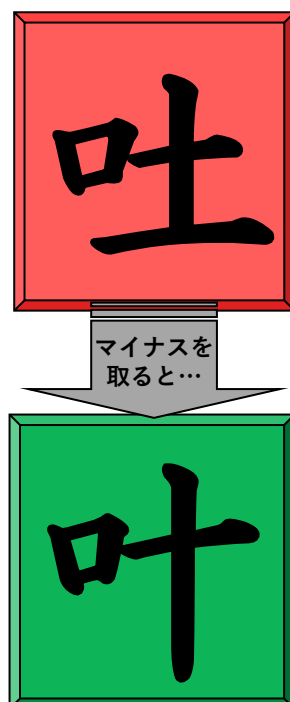
～心の成長はプラス言葉から～

11月はふれあい月間です。皆さんのまわりの人間関係を振り返る機会です。今回もいじめアンケートを実施します。まわりで気になることがあったら書いてください。

今朝は言葉の力についてお話します。以前オリンピックで活躍したアスリートの名言や感動した言葉を紹介するテレビ番組で『使う言葉の大切さ』の話を視聴しました。その中でのエピソードに『吐』くという漢字の話題がありました。この字はへんが口、つくりが土。+（プラス）と－（マイナス）に見えますね。その番組で（ほう！）と思ったのは、そのアスリートはある日気付きを得ます。『吐』くという字のマイナス（横棒）を取ると、なんと『叶う』になる！それ以来意識してマイナス言葉を避けて、前向きなプラス言葉をどんどん発していたらメダルの夢が叶ったという話題でした。例えば（自分は）できる、やれる、粘る、頑張れる、諦めない！」みたいに。私は番組を視聴しながら、『吐く』と『叶う』という漢字に、単なる言葉遊び以上の深いものを感じました。プラス言葉は自分を成長させて、マイナス言葉は心にブレーキをかけて、まわりと壁を作ってしまう。

皆さんの学校生活で自分の口から吐く言葉で、無意識にまわりの人を傷つけたり、逆に傷つけられたりする事はありませんか。自分が使う言葉でまわりの人が笑顔になり和む。逆に暗くなり離れていく。「ウザ」「死ね」「消えろ」「クズ、クソだな」「最悪」「最低」、あるいはわざと嫌がるあだ名で呼ぶ…。今、私の言葉で皆さんは嫌な気持ちになっていませんか？例えとはいえごめんね。こうした誰かをディスる言葉、つまり相手を侮辱したり否定したりする言葉を、無意識に使ったりSNSで書き込む。人を見て態度を変えてマイナス言葉を吐く。思い当たる人はいますか。自分の言葉を一番近くで聞いているのは自分の耳であり心です。私たちの心や人間関係は、自分が使う言葉で如何様にもつくられます。使う言葉が行動になり目標が叶います。それが言葉の力です。（マズいな！）と思い当たる人がいたら、気付いた時がチャンスです。自分たちの言葉を、互いに点検する11月のふれあい月間にしましょう。

最後に11月の『一生ものトピック』コーナーは、『上着の前後ろを見分ける方法』です。私は恥ずかしながら十年前に、自分で（あれ？もしかして？）と50歳を超えてから気づきました。皆さんは気付いていますか？首の後ろに目印のタグがない時、前後を間違えて着て（ありゃ、しまった！）がありますよね。これ、左わき腹にタグがあるのでそれで見分けます。知っていた人？（一割ほど挙手あり）今まで気づかなかった人は、これでもう大丈夫ですね。😊



授業ぶらっと訪問③7

11月10日(月)④1C 道徳 堤教諭



堤先生は、授業の冒頭で「昨日のことを振り返って、ありがとうと人に何回言いましたか。書いてみよう」と投げかけます。更に「逆に言われた回数を思い出してみよう」と重ねます。確認すると、生徒は5回以上言った、言われたという人が数人。逆にゼロ回も数人いました。堤先生は「日曜日だったから話した人も少なかったかも。ゼロ回も仕方ないね」と、さりげなくフォローしていました。続いて今日のめあてを電子黒板に示します。『感謝の気持ちは、言葉にするだけでなく、言葉に想いを乗せることで、初めて相手に伝わる』ということを理解しよう」と書かれていました。どんな授業になるのでしょうか。

堤先生は静かなよく通る声で教科書の範読をします。生徒は静かに聴きながら読み進めます。「ありがとうの魔法」という読み物資料です。「ありがとう」と言われる人の特徴について隣と意見交換する時間を取ります。生徒は様々な意見を出します。親切な人、頼りがいのある人、思いやるがあり心が広い人、人の役に立つ行動をする人、献身的な人、ありがとうと言える人、お金を持っている人、礼儀正しい人等々。続いて実際に感謝の言葉を伝えてみよう。具体的に日頃から感謝の対象として、皆の1C担任の佐藤巨基先生に書こうと伝えます。生徒は黙々と書き始めます。書き終わったところで、「皆さんには手紙で感謝を伝えてもらったけれど、込めた思いはどんなものだったんだろう。感謝の気持ちを伝えるとき大切なことは何だろう。言葉にしてみよう」と伝えます。生徒はワークシートに記入しています。その後、挙手して発言を求めます。「相手の目を見て感謝の気持ちを込める」「ただありがとうではなく、～してくれてと理由を伝える」「ハキハキ話す」。堤先生は「発言してくれなかった人の意見にも良いものがたくさんありましたよ」と生徒には伝えます。最後にワークシートで振り返りをチェックして自由意見欄に今日の授業の感想を書くように求めて終わりました。授業を聴きながら、自分もまわりの人への感謝の気持ちをきちんと表現できているかな？と自分自身を振り返っていました。

11月20日(木)⑤1B 数学基礎 福田主任教諭

福田先生は10月から育休明けで復帰しました。チャイムが鳴り号令がかかります。椅子を入れるように指示して、下敷きでうちわしている生徒に始業の挨拶のマナーを手短に指導します。まず毎回の5分間テストは比例・反比例の5問テストです。途中で、「1(1)の問題をほとんど正解がないね。何を間違えているかよく考えてごらん」と助け船を出します。「10cmで80gの鉄棒がある。鉄棒Xmの重さをYgとしてYをXで表しなさい」という問題です。生徒からの答えは $Y=8X$ 、 $Y=80X$ 、 $Y=800X$ と三つ出てきました。正解した生徒が、cmとmの単位に着目して説明をしました。まだ比例式を立てる力が十分ではありません。授業だけでなく家庭学習でも積極的に問題を解いてほしいものです。

今日のめあては『比例、反比例の関係を見出し利用しよう』と黒板に書かれています。福田先生は、昨年度の卒業時のパワポのスライドを少しだけ見せます。スライドに関する問題です。『文化祭でスライドショーをつくる。50枚の写真を写す時、どれくらいの長さの曲が必要か?』という問題です。曲の長さA、一枚に流す時間B、スライドの数Cの関係を式に表してみようと発展します。A=で式を作ってみようと進みます。 $A=BC$ 。これはほとんどの生徒ができます。続けてAが300秒のとき、B



とCはどういう関係になるか、と考えます。 $300=BC$ という式のBとCの関係を考えます。「比例」「反比例」と意見が分かれます。一人の生徒が「Bが増えるとCが減るから反比例の関係」と発表してまわりが納得し始めます。福田先生が前にやった $a=XY$ が反比例の関係と同じことに気付かせます。今日のまとめで、電子黒板に『 $A=BC$ で表された式で、A,B,Cのうち、いずれか一つを決まった数、残りの二つを変数とすると、その二つの変数の間の関係は、比例したり、反比例する。』と表示します。教科書に出ている難しい表現です。これが腑に落ちないと比例、反比例はマスターできないので、福田先生の説明にも熱が入っていました。時折「ついてきてる?」と確認しながらの充実した授業となりました。『時間』、『速さ』、『距離』の関係にもつながる考え方で、今日の授業の内容は暗記するのではなく、きちんと理解しないとイケないところです。一年生、頑張れ!

本校の学校運営協議会（CS）委員 7 名と生徒会本部役員、各学級代表委員 25 名が放課後に集まって、『より良い大宮中を創る』というテーマで懇談会を開きました。

生徒には校長から事前に『より良い大宮中を創るために、何ができるか、何をしたいか』を考えてるように伝えてありました。代表生徒は自分で考えたり、まわりの仲間へ聞いたり学級で相談して、提案を持ち寄ってもらいました。当日は 7 グループに分かれてお茶を飲みながら、持ち寄ったアイディアを出し合って検討していました。



【出てきた提案とそれを受けて校長が考えたこと】

・あいさつ運動の回数を増やしたい（もっと活気が出る）。⇒大変良いことなので生徒会本部や生活委員会で検討してみたい。

・他学年と交流できる行事があると良い（縦割り分けて活動できるような）。・文化祭をやりたい（自分たちで 1 から企画をして盛り上がりたい。他学年とも交流できる）⇒これ以上学校行事を増やすことは難しいですね。文化祭は高校等で自治的活動として楽しんでほしい。大宮中では地域の『なでしこフェス』に実行委員で参加したり、生徒会本部企画で昼休みに縦割りレクなどを提案したらどうでしょう。

・G 組生徒も『働く人の話を聞く会』に参加したい。⇒第一学年で三月に実施している会に G 組も一緒に参加しています。

・テスト範囲をもっと早く（3週間～1か月前）に教えてほしい。⇒学習意欲は素晴らしいが、そんなに早くは難しい。後から範囲が増減は嫌でしょう。テスト範囲表が出ないと動き出せない習慣は改善の余地あります。テスト範囲を自分で予測して早めに計画する習慣をつけてほしい。そのための DO ノートです。

・自習室を開放してほしい。⇒『なでしこ塾』という名称で現在も定期考査前に実施しています。過去には水曜日に再登校をしなくてもいいように開設したが、利用者が少なく数年前に廃止した経緯があります。再び熱い要望があれば検討します。

・クーラーをつけても暑い教室があるので改善してほしい。⇒長寿命化工事で新しいエアコンと校舎の断熱

化を進めているので、今後改善される計画です。

・冷水器を増やしてほしい。⇒すぐに区教育委員会に確認したところ予算がなかったため、同窓会と PTA で設置できるか検討を進めています。

・校庭にライトをつけてほしい（日没後真っ暗で危ない）。⇒現在は夜間歩行用に校舎側に照明が付いています。校庭用の夜間照明の要望があることを区に聞いたところ、大宮中は校庭の夜間開放をおこなっていないため、現状では照明は付けられないとのことです。

・屋上に昼休みに出られるようにしてほしい。・部活動の遠征の時のスマホの所持ができないか。⇒屋上は授業（例：理科の天体観察）や卒業アルバムの写真の撮影等は可能です。昼休みの遊びで使用することは安全面から現時点で考えていません。部活動の大会等での携帯電話の扱いについては現在検討中です。

・秋冬の期間も C&C デーを作してほしい（パーカーやトレーナーで温度調節がしたい）。・キーホルダーをつけるのはなぜ 1 つまでなのか。など校則の理由について先生と話し合いがしたい。⇒生活のきまりについては、『意見箱』に出たものを生徒会本部で生活指導の先生と話し合ってから、本部生徒が校長のところに相談に来ています。その後先生方とも検討しています。その結果 C&C デーのように実現することもあります。C&C（クール&カジュアル）は、夏の酷暑対策、衛生面への配慮から実施しています。冬季の寒さ対策で C&C を実施することは、土曜授業以外では現状では考えていません。

通学用カバンのアクセサリーは、生徒手帳 P.9 に『目印のため一つだけ』とあります。昭和、平成時代に、じゃらじゃらアクセサリーを付けるのを見かねて作られたきまりかもしれません。アクセサリーにもお守りから小さなキーホルダー、どでかいぬいぐるみまで多種多彩です。最近いくつもぶら下げているカバンがちらほら目立っていた状況でした。アクセサリーは「ダメ」「ゼロ」ではなく、「目印のために一つまで」という「一つ」の数字は、「気に入ったものを最小限にしてね」という意味です。「二つまでは？三つは？」「大きさは？」という発想ではなく、要は通学用カバンを飾る態度は、一定の節度と程度

が必要ということを考えてほしいのです。

生徒手帳に記載されている生活のきまりに、今の時代や大宮中にそぐわない内容や表現があれば、生徒会活動の中で見直しを進めていきましょう。



By Maya

連合文化祭

11

1～3

当日はセシオン杉並、勤労福祉会館を会場として、本校からは美術、技術家庭科の作品展示と書評座談会に参加しました。



通常学級の定期考査の最終日の午後の昼食時に、G組の生徒が調理したカレーライス、コールスロー、ラッシー、コーヒー、紅茶の飲み物を用意して、被服室で販売しました。当日は教職員とG組の保護者、PTA役員の方々にお客さんになってもらい購入をお願いしました。今回はカレーづくりに挑戦して、カレーライスは本格的な味で大好評でした。お客さんからの注文のさばき方も、去年よりスピーディーで生徒の成長を感じることができました。

G組校外学習

11

18(金)

今年の秋の校外学習は、天気にも恵まれる中、上野・浅草方面で実施しました。

4つの班に分かれて、上野の国立科学博物館や東京都美術館を見学しました。国立科学博物館では、話題の恐竜の骨やいろいろな生物の標本を見学し、東京都美術館では、後期印象派の画家「ゴッホ」の作品を鑑賞しました。本物に触れることで、一人一人の感性が磨かれたことだと思います。

昼食は隅田川沿いの素敵な雰囲気「カフェムルソー」で、それぞれがチョイスした美味しいランチをいただきました。その後は、班行動での雷門、仲見世、浅草寺でお参りをし、買い物などを楽しみました。人形焼は事前に調べていた値段よりもアップしていて、物価高騰にちょっとびっくり！だったり、大きなみたらし団子は「大満足！」の美味でした。

仲見世通りはたくさんの外国人の方であふれていて、日本という国がインバウンドによる観光立国になったことや、日本の文化が広く親しまれていることを実感しました。往復は丸ノ内線と銀座線という公共交通機関を使っただけで移動で、とっても緊張しましたが、16人全員が無事に帰ってくることができ、わくわく・どきどきの充実した校外学習になりました。(藤田副校長)



連合フレンドリースポーツ大会

10

28(火)



区内中学校特別支援学級6校と済美養護学校の生徒が一堂に集い、スポーツで汗を流して交流活動を実施しました。今年度は改修工事が終了した済美山グラウンドで実施しました。開会式は生徒の司会で始まり、音楽に合わせて準備体操を元気におこないました。全校入り乱れての大玉ころがし、台風の目、最後に選抜リレーというプログラムでした。お互いに声をかけあい応援しながら、最後の閉会式まで楽しい時間を過ごすことができました。

G組カフェ

11

14(金)

